

## まちづくり講演会「困っている子ども達に 今、私たちが出来ること」

講師 NPO 「ひまわりの花」 理事長 中野たみ子先生

2月27日、宮代地区まちづくりセンターに於いて“まちづくり講演会”が有り、NPO 法人「ひまわりの花」理事長、中野たみ子先生にご講演頂きました。中野先生は、宮代の出身在住であられ、主に発達障がい児・者の支援を中心に活動されています。本会においては、講題を「困っている子ども達に 今、私たちが出来ること」として講演していただきました。

乳幼児期の子育てや、学校での困り感のある子どもたちの例示や、特性の説明や具体的な指導例、**私たちが対応すべき術の提案を講師の経験を通じた学びから戴きました。**

聴講を通じた私の発見。講題に対する私のこれまでの理解、それは不十分

で、お粗末、真実ではなかったということでした。その事は私にとっての解釈不足の落とし穴で有ったことでした。講演を聞いて、それまでの私の理解はなんと独善的で身勝手な捉え方であったことかでした。その捉え方が、自身の基本的で良好な人間関係全般の構築にさえにも障がいを与えていたことの様でもありました。個々の案件は紙面の制約から割愛しますが、私の聴講感は解放感です。私の闇が照らされて、そして新しい捉え方の術を戴けた事です。このことが解放感です。

私は講師に伝えたいです“それっていいですね、私も賛成します。私には縁が遠くて現実の活動には結び付きそうにないのが残念ですが…”

記)まちづくりセンター-総務部 富田 保

### 講師が仕事を通して学ばせてもらったこと

- ・子どもたちは遊びに飢えている！
- ・子どもたちはどの子も褒められたいと思っている！
- ・子どもたちはどの子も素晴らしい力を持っている！
- ・子どもたちはできない自分に腹を立てる。
- ・子どもたちは大人の嘘をすぐに見抜く。
- ・子どもたちは大人よりも感性が鋭い！
- ・将来生きていく力は生活の中に在る！
- ・自立のためには勉強ができる、成績が良いことよりも社会性が大事。
- ・学校と家庭は子育ての両輪。
- ・自立していくためには自己理解が必要

